

平成19年 第2回 三重県議会定例会

産業振興政策や地域づくりなどについて議論

平成19年6月7日～6月29日



平成19年第2回定例会を、6月7日から6月29日まで23日間の日程で開催し、「平成19年度三重県一般会計補正予算(第1号)」ほか42件の議案を審議しました。

7日の開会日には、議案31件を上程し、知事から議案の提案説明が行われました。

12日には代表質問、14日、19日には一般質問があり、12名の議員が質問に立ちました。

会期中、各常任委員会を開催し、議案や請願の審査などを行いました。また、27日には予算決算常任委員会において、補正予算に対する附帯決議案が提出され、全会一致で可決しました。

閉会日の29日には、各常任委員長からの付託議案についての報告の後、開会日に上程した知事提出議案31件を原案どおり可決したほか、議員提出議案の「政治倫理の確立のための三重県議会の議員の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例案」を可決し、請願3件を採択しました。また、公安委員会委員ほか2件の人事関係議案に同意するとともに、意見書案5件を可決し、閉会しました。

代表質問

地域医療体制と周産期医療について

二谷 哲央 議員
(新政みえ/桑名市・桑名郡選出)

問

産婦人科医療を支えている「診療所」は、医師不足や高齢化により危機的な状況にあります。これを克服するには、地域の診療所を統合して複数の医師を確保し、医師の体的、時間的な負担、医療に伴うリスクを軽減することが必要です。

医療法では病床過剰地域での病院の開設、病床数の増加は認められませんが、安心して子どもを産める環境の確保のため、知事が必要と認めれば増床を認めるべきと考えますが、知事の考えを伺います。

答

三重県の周産期医療を担う産婦人科医や小児科医の数は全国平均を下回っており、一部の病院では、一時期お産ができなくなるなど、大きな問題となりました。

病床過剰地域における診療所の再編統合に伴う病床の取り扱いについては、国において

も検討すると聞いており、県内の周産期医療の現状も踏まえ、国とも協議のうえ医療審議会に諮り、慎重に検討したいと考えています。



その他の質問事項
○さらなる地方分権改革の推進ほか

「産業が元気なみえ」について

山本 勝 議員
(自民・無所属議員団/桑名市・桑名郡選出)

今議会の補正予算案で、地域の人材や地域資源を活用し、地域に密着したビジネスや事業活動の新たな展開を支援する「みえ地域コミュニティ応援ファンド」が提案されています。

コミュニティビジネスやスモールビジネスなど新しいビジネスの創出を支援して、地域の産業振興につなげていくため